

脱水分離液試験項目及び試験方法

試験項目	採取試験料				試験方法	定量 下限	有効 桁数	
	原水	凝集沈殿 槽出口	BOD酸化 槽	亜硝酸化 槽出口				処理水
水温 (°C)	◎			◎	◎	JIS K 0102 7.2(棒状温度計(JIS B 7411)50°C又は100°C)	-	2
pH (mg/L)	◎			◎	◎	JIS K 0102 12.1 ガラス電極法(JIS Z 8802)	0.1	小 1
全窒素 (mg/L)	◎		◎	◎	◎	JIS K 0102 45.2 紫外線吸光光度法	0.2	2
溶解性窒素 (mg/L)						ろ過JIS K 0102 3.2 定量JIS K 0102 45.2 紫外線吸光光度法	0.2	2
アンモニア性窒素 (mg/L)	◎	○		◎ ○(各槽)	◎	前処理JIS K 0102 42.1 (蒸留法) 定量JIS K 0102 42.2 インドフェノール青吸光光度法 JIS K 0102 42.4 イオン電極法 JIS K 0102 42.5 イオンクロマトグラフ法	0.1	2
亜硝酸性窒素 (mg/L)				◎	◎	JIS K 0102 43.1.1 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 JIS K 0102 43.1.2 イオンクロマトグラフ法	0.1	2
硝酸性窒素 (mg/L)				◎	◎	JIS K 0102 43.2.4 ブルシン吸光光度法 JIS K 0102 43.2.5 イオンクロマトグラフ法	0.1	2
全りん (mg/L)	◎				◎	前処理JIS K 0102 46.3.1 ベルオキソ二硫酸カリウム分解法 定量JIS K 0102 46.1.1 モリブデン酸青法	0.1	2
りん酸態りん (mg/L)	◎	◎			◎	JIS K 0102 46.1.1 モリブデン青吸光光度法 JIS K 0102 46.1.3 イオンクロマトグラフ法	0.1	2
S (mg/L)	◎	◎			◎	環境庁告示第59号付表9 GFP法	1	2
BOD (mg/L)	◎		◎	◎	◎	JIS K 0102 21 測定JIS K 0102 32.1 よう素滴定法 32.3 隔膜電極法	0.1	2
溶解性BOD (mg/L)	◎		◎	◎	◎	ろ過JIS K 0102 3.2 定量JIS K 0102 21 測定JIS K 0102 32.1 よう素滴定法 32.3 隔膜電極法	0.1	2
COD (mg/L)						JIS K 0102 21備考1 測定JIS K 0102 32.1 よう素滴定法 32.3 隔膜電極法	0.1	2
アルカリ度 (mg/L)	◎			◎		JIS K 0102 15.1 酸消費量(pH4.8)	—	2
COD (mg/L)						JIS K 0102 17 COD _{mn}	0.1	2
無機炭素 (IC) (mg/L)				○(各槽)		下水試験法1.24.1 燃焼酸化-赤外線式TOC分析法	1	2

備考 1. 水質試験頻度は、◎印は月2回以上、○印は月1回以上、●印は2ヶ月1回以上、△印は3ヶ月1回以上、▽印は6ヶ月1回以上、☆印は年1回以上、★印は法律上の対象処理場(資料11参照)について、年1回以上とする。
また、空欄については必要に応じて水質測定をおこなう。
2. 測定値及び平均値は、JIS Z 8401(数値の丸め方)によって丸める。
3. 測定値が定量下限未満の場合は、“ND”と表示する。ただし、大腸菌群数については“0”とする。

種類	試験項目	試験方法	定量 下限	表示桁	備考
活性汚泥	SV (%)	下水試験法4.1.8	—	整数	
	MLSS (mg/L)	下水試験法4.1.6 遠心分離法	—	3	
	VSS (〃)	下水試験法4.1.7	—	3	2)
	SVI	下水試験法4.1.8	—	2	
	DO (mg/L)	下水試験法4.1.9 隔膜電極法	—	小1	
一般汚泥	SS (mg/L)	下水試験法5.1.9	—	3	
	乾燥試料中の強熱減量(%)	下水試験法5.1.8	—	2	V S %と表示する 3)
	pH	下水試験法5.1.5 ガラス電極法	—	小1	汚泥の状態で測定
	アルカリ度 (mg/L)	下水試験法5.1.13	—	2	全量か上澄水を記入
	TS (mg/L)	下水試験法5.1.6	—	3	高分子凝集剤 および溶解水等
	メタン (%)	下水試験法5.5.2.1 ガスクロマトグラフ法	—	小1	
	二酸化炭素 (%)		—	小1	
硫化水素 (ppm)	下水試験法5.5.3.4 検知管法	—	2		
活性汚泥ならびに一般汚泥	全窒素 (mg/L)	ト水試験法2.1.29.1 紫外線吸光度法	0.2	2	
	全りん (mg/L)	下水試験法2.1.30.3 ペルオキソ二硫酸カリウム分解法	0.1	2	
	全シアン (mg/DSkg)	底質調査法II.4.11.1 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光度法 底質調査法II.4.11.2 ピリジン-ピラゾロン吸光度法	5	2	
	全水銀 (〃)	底質調査法II.5.14.1.2 前処理 硝酸-硫酸-過マンガン酸カリウム分解法 定量 還元気原子吸光法	0.2	2	
	カドミウム (〃)	下水試験法3.1.2硝酸と過塩素酸による分解法 加圧ポンベ法 (王水) 定量 下水試験法3.2.1.2 ICP発光分光分析法	1	2	
	鉛 (〃)	下水試験法3.1.2硝酸と過塩素酸による分解法 加圧ポンベ法 (王水) 定量 下水試験法3.2.2.2 ICP発光分光分析法	5	2	
	全クロム (〃)	下水試験法3.1.2硝酸と過塩素酸による分解法 加圧ポンベ法 (王水) 定量 下水試験法3.2.3.2 ICP発光分光分析法	5	2	
	銅 (〃)	下水試験法3.1.2硝酸と過塩素酸による分解法 加圧ポンベ法 (王水) 定量 下水試験法3.2.8.2 ICP発光分光分析法	5	2	
	亜鉛 (〃)	下水試験法3.1.2硝酸と過塩素酸による分解法 加圧ポンベ法 (王水) 定量 下水試験法3.2.9.2 ICP発光分光分析法	5	2	
	全鉄 (〃)	下水試験法3.1.2硝酸と過塩素酸による分解法 加圧ポンベ法 (王水) 定量 下水試験法3.2.10.2 ICP発光分光分析法	10	2	
	全マンガン (〃)	下水試験法3.1.2硝酸と過塩素酸による分解法 加圧ポンベ法 (王水) 定量 下水試験法3.2.12.2 ICP発光分光分析法	5	2	
	ニッケル (〃)	下水試験法3.1.2硝酸と過塩素酸による分解法 加圧ポンベ法 (王水) 定量 下水試験法3.2.16.2 ICP発光分光分析法	5	2	
	アルミニウム (〃)	下水試験法3.1.2硝酸と過塩素酸による分解法 加圧ポンベ法 (王水) 定量 下水試験法3.2.16.2 ICP発光分光分析法	10	2	
	砒素 (〃)	前処理 下水試験法3.1.2 硫酸、硝酸と過塩素酸による分解法 定量 下水試験法3.2.5.1 水素化物発生原子吸光法	5	2	
	セレン (〃)	前処理 下水試験法3.1.2 硫酸、硝酸と過塩素酸による分解法 定量 下水試験法3.2.7.1 水素化物発生原子吸光法	5	2	
	PCB (〃)	下水試験法2.2.3.1 ガスクロマトグラフ法	0.5	2	

1) 定量下限値の「—」については、「0」として扱う

2) VSS (mg/L) は有機分 (%) または VS (%) と表示し、
計算式は $VSS / SS \times 100$ (表示桁 2) とする。

3) 乾燥試料を浮遊物質 (SS) とした乾燥試料中の強熱減量。